



2020 年度 順天堂大学

【 講 評 】

大問構成は例年通りで、大問 1 から大問 4 が長文問題、大問 5 が自由英作文。長文問題の難易度も例年通りで、文章も比較的読みやすい内容であった。ただし、80 分で自由英作文を含む 5 問であるため、手際よく解答する必要がある。自由英作文は「書く内容を考える時間」と「考えた内容を英訳する時間」に分けて解答作業を進める。特に前者の時間で「論理的に一貫している」かつ「英訳しやすい」内容を考えられるかどうか重要である。

【 解 答 ・ 解 説 】

1

問 1.

(1) 1.

asset(資産、資源)という意味から考えて正解することも可能であり、意味を知らなくても第四文型の文で、O の those youth とイコールになりうるのは 1 のみである。

(2) 4.

breadth が broad の名詞形で「幅」の意。よって 4 が正解となる。

(3) 3.

質問に対する応答で、ゲイツは、はっきり No と言った後に世界は良くなり続けていると言っているの
で、この逆の内容を C が含まれる疑問文で表現している。よって 3 が正解となる。

(4) 2.

nuclear war, pandemics, polarization と並んで人々が worry about する内容を表現しているので、2 が
正解となる。

(5) 2.

e を含む文の後、ゲイツは 20 年前より今、今より 20 年後に生まれた方がより良いと言っている。つま
り、世界は日々良くなり続けていると言っている。よって 2 が正解となる。

(6) 3.

波線部を含む質問に対するゲイツの応答前半部と一致し、**youngest** という根拠になりうる 3 が正解となる。

(7) 3.

波線部含む分の **because** 以降の内容と合致する 3 が正解となる。

(8) 1.

直前のゲイツの発言内容から 1 が正解となる。

(9) 2.

ゲイツは、今の世界の問題点を挙げつつも、最後の発言では世界は良くなっていくと言っているので、2 の **optimistic**(楽観的)が正解である。

問 2. 2.

問題文に記されている下線部は、**the fact that we're going to build these cities, that the world is urbanizing** (この文中の、は **and** と同じ意味で使われている) が **mean** していることである。2 の **half** を入れれば下線部は、「鉄やセメントを作って温室効果ガスを排出する途中ですらない(これからも排出し続ける)ならば、温暖化問題の解決には近付いていない」となり意味が通る。また、これ以降の (A) は、ゲイツの温暖化ガス削減目標がどのくらいかが入り、**If it was a 50% reduction, then you could ignore...**と言っていることから 2 が正解と分かる。

2

問 1.

(1) 1.

and 以下の **contributed to environmental degradation for nothing** と同様の内容を言えばよいので、1 が正解となる。

(2) 3.

空欄直前に **for instance** とあり、一つ前の段落の例を挙げていると分かるので、その内容と一致する意味になる 3 が正解となる。

(3) 1.

(C)を含む文は、「調査結果がアメリカ人の食生活の **variance** を示した」と訳せる。これを具体的に言ったのが後ろの文に示されている **On a scale of ~~~**の内容だと考えると、1 が正解となる。

(4) 4.

undermine は「蝕む」の意。よって 4 が正解となる。

問 2.

(1) 2.

健康に良さそうな食べ物を買ったはいいが、時間がなくて出前を頼み、結局買ったものを腐らせてしまう、という例の中で用いられているので、1,3,4 は明らかに間違いである。

(2) 3.

アメリカ人がどのくらい食品ロスをし、その食品を作るためにいかに水や農薬が使用されているのかを⑥～⑩では示しているなので、3 が正解となる。

(3) 3.

ここでの this は、食品ロスを減らしながら健康的な食事をするべきだ、ということを目指している。次の 22 段落目で、腐りにくい食べ物を買えば、ロスは減るが不健康だと言っている。よって、二つの両立は難しい、という内容になる 3 が正解となる。

(4) 1.

2,3,4 はそれぞれ 23,24,25 段落の内容を言っているので不適である。

(5) 1.

Wasted food が環境破壊や健康にまで関係した問題であることを語っている文章なので、1 が正解となる。

問 3. 3.

Still は状況が変わっていないことを強調するので、この文が入る前は the situation is hopeless に思えるという内容が、この文が入る後は Still 以下の内容が入るはずである。よって 3 が正解となる。

3

問 1.

(1) 3.

Canada に住んでいたが United States に uprooted したと言っているので 3 が正解となる。

(2) 2.

thereby promoting overall well-being and happiness とあるので、Buying time ~time famine, が thereby 以降の根拠となるように意味をとればよい。よって 2 が正解となる。

(3) 1.

11 段落以降では the perception that ~rich people を否定しているので、C は、反する、合致しない、といった意味になる。よって 1 が正解となる。

(4) 4.

clean their home と同様人にお金を払ってやってもらうこと具体例となっているものが入るので、4 が正解となる。

問 2.

(1) 1.

第五、六段落での内容と一致する。

(2) 4.

お金で時間を買うなんてお金持ちがすることだと思われがちだが、just spending~~difference、だと言っている。逆説に注意すると、下線部は、誰でもお金を時間で買える、といったニュアンスなので、4 が正解となる。

(3) 2.

2 以外は全て第十六段落の内容と合致する。

(4) 4.

第十六段落冒頭で、収入に関係なく時間をお金で買うと幸福につながると書いてあるので、4 が正解となる。

(5) 2.

終始、お金で時間を買うと幸福になる、という話をしているので、2 が正解となる。

問 3. 3.

空欄のある六段落までで登場する唯一の女性の Willian を she が指す。Willian が研究内容を行動に移す前後の境目が空欄に入れる文なので、3 が正解となる。

4

問 1.

(1) 3.

cease to~: ~をやめる は基本的な語である。知らなくても、1950 年代までは心臓が止まって呼吸を cease すると死とみなされた、と書かれているので 3 が正解となる。

(2) 1.

revive : 生き返る は基本的な語である。知らなくても、冠詞 the がついているので、前の文に書かれている restore functioning~~を指していることが分かれば、1 が正解となる。

(3) 4.

not only ~~, they began to show signs of recovery と書いてあるので、程度は違えど they began to show signs of recovery と同じ方向性のことが~~部分では書かれている。他の処理していない豚の脳よりも処理した脳の方が decomposition していなかったと書かれているので、4 が正解となる。

(4) 3.

2 と迷うが、gain に対応する語として have と get を、new に対応する語として good と more を比較して、3 を正解とする。

問 2.

(1) 4.

死の定義の変遷を時系列で述べているので 4 が正解となる。

(2) 1.

脳の機能を復活させることはできたとは書いてあるが 2 や 4 のようなことは書いていない。また、Oxygen だけでなく nutrient solution が必要と書いてあるので 3 も不適である。

(3) 4.

第八段落冒頭に The clear answer, however, is no とあるが、answer があるということは question があるはずである。この question は第六段落の疑問文であり、この疑問に no と答えているので 4 が正解である。

(4) 4.

十一段落の内容と一致する 4 が正解となる。

(5) 2.

死の定義が心臓の停止から脳の機能停止に変わったが、豚の実験からもわかるように今後脳の機能停止すらも死の定義に当てはまらなくなるかもしれない、という話である。3 と迷うかもしれないが、死を克服できるとは書いていない上に、死の定義が話題となっている本文のタイトルには相応しくはない。

問 3. 2.

this question とあるので question が空欄直前にある。よって 2 が正解となる。